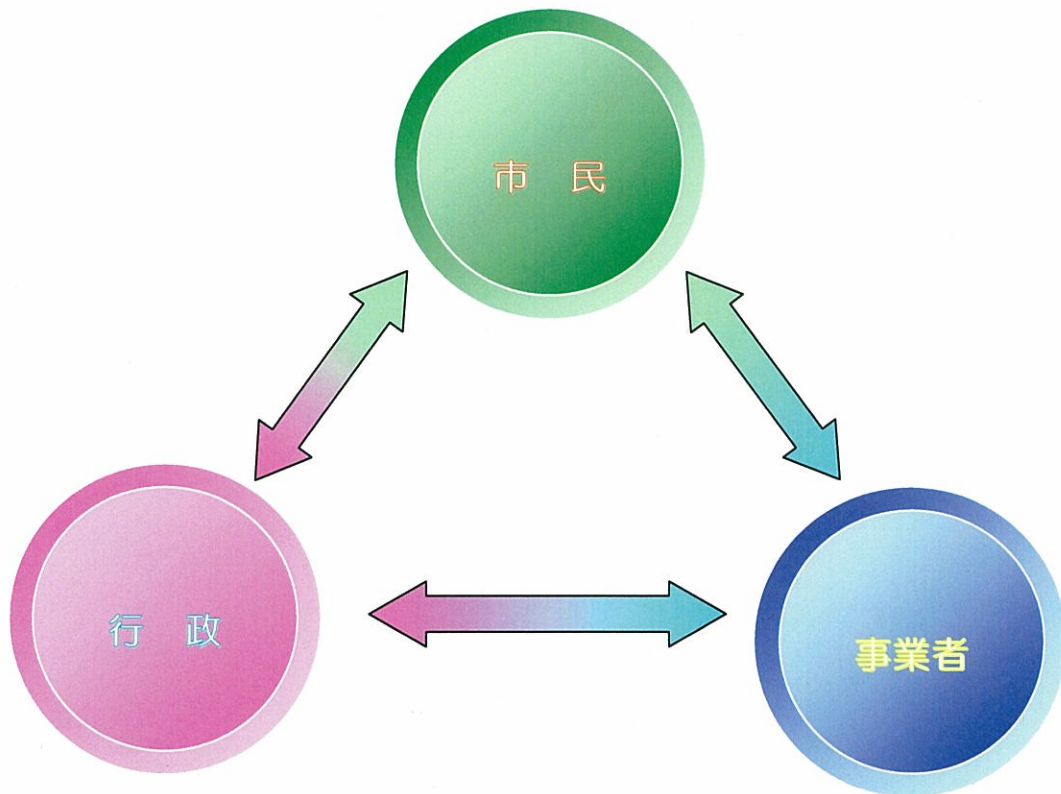


6-1 実現に向けた市民と行政のパートナーシップ

高岡市都市計画マスタープランに掲げる目標を進めていくためには、市民と事業者、そして行政がそれぞれの責任のもと適切に役割を分担するとともに、相互の連携・協力などパートナーシップを大切にしまちづくりを進めることが求められる。それぞれが担うべき役割は、次のように整理される。

- ・土地利用の方針に沿った開発、建築への配慮
- ・民有地緑化や清掃等の周辺環境への配慮
- ・まちづくり活動を行う組織づくり
- ・自発的かつ主体的なまちづくりへの積極的な取り組み



- ・市民や企業の意見収集と柔軟な計画への反映
- ・情報通信の活用によるまちづくり情報の提供や発信
- ・まちづくり活動等への支援と活用

- ・都市計画マスタープランの方針に対する理解と協力
- ・企業活動を通じたまちづくりの取り組み
- ・独自の専門性を活かしたまちづくりの取り組み

6-2 実現のための取り組み

1 市民主体のまちづくりの推進

将来都市像の実現に向けては、市民がまちづくりに対する意識を高め、主体的にまちづくりに取り組むことが重要であり、ワークショップなど様々な市民参加のシステムの拡充を行うとともに、市民がまちづくりの構想から管理運営まで積極的に参加するまちづくりの推進に努める。

2 まちづくりの推進体制の確立

行政と市民やNPO、企業が協働となって、計画的なまちづくりを推進できるような体制の確立に努める。

3 関係機関との連携

公共事業や土地利用の誘導、都市施設整備など、広域的なまちづくりの推進にあたっては、国や県、周辺市町及び関係機関との調整が必要となることから、関係機関との密接な連携を図るとともに、市民の意向を計画や事業へ反映することができるよう、広域的な視点からまちづくりへの協力を要請していく。

4 進行管理と柔軟な見直し

事業の進捗状況を踏まえ、定期的に内容を検証・確認し、基本理念・基本目標を守りながら柔軟に対応していく。

また、社会経済情勢の変化や大規模なプロジェクトの進展など、本都市計画マスタープランの見直しが必要な場合には、市民からの意見も踏まえ、柔軟に計画の見直しを図る。

5 新たなまちづくり方策の導入

地域住民の意見を踏まえながら、計画的で魅力的な高岡らしいまちづくりを推進し、常に変化する社会情勢に対し柔軟に対応するため、新たなまちづくり施策の導入を積極的に検討する。